数学

I 教科、種目の観点

資料作成に当たっては、共通観点の他に、学習指導要領(平成29年3月)に示された各教科の目標や内容等に即して検討し、教科独自の観点を定めた。

財育基本法の理念や長崎県教育方針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る上での特長			
共通観点	(1)	教科の特質に応じて、「教育の目的」及び「教育の目標」の達成に資する内容、構成となっているか。	
	(2)	ふるさと長崎の伝統·文化や歴史、自然について理解を深める学習に生かせる題材が扱われているか。	
2 学習指導要領の目標や内容等を踏まえて、確かな学力の育成を図る上での特長			
共	(1)	基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されているか。	
通観	(2)	知識·技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されているか。	
点	(3)	主体的に学習に取り組む態度を身に付けることができるよう工夫されているか。	
教科	(4)	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感することができるよう工夫されているか。	
独自	(5)	一度学習した内容を再度学習できるようにするなど、学び直しの機会が適切に設定されているか。	
観点	(6)	各領域の内容を関連付けて見いだした課題を解決したり、解決の過程を振り返って考えを深めたりする学習ができるよう工夫されているか。	
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長			
共	(1)	文章は、分かりやすく、質・量ともに適切な記述となっているか。	
通観点	(2)	写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。	
	(3)	レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されているか。	

Ⅱ 選定資料利用上の留意点

- Ⅰ 資料の作成に当たっては、設定した観点ごとに、特に目立った事柄を取り上げること。
- 2 利用に際しては、全体を通して総合的に判断し、各教科書の特色をとらえるとともに、地域の実態、その他の条件を考慮して、適正な採択のための資料とすること。
- 3 前記の観点と次表の観点、具体項目とは、対応させて読み取ること。

教育基本法の関心や長崎未教育 対かの風に・病質を含まえて、悪かなか場合といった。 対象の 1 報告に対している。 教育の特別では、教育の 1 報点では、、教育の 1 目的によび 1 教育の 1 日のによび 1 日のによ	_	具体項目		数学
数料の物質に応じて、「教育の 目の力、及び「養質の自患」の語 がもなことで、対象が、動態を教養を自動している。 がある。と、他のであるとで、ないである。 がある。と、他の何の依然・文化や度 と、会と、医科の内に依、文化や度 と、会と、と、他の作成・文化や度 と、会と、医科の内に依、文化や度 と、会と、医科の内に依、文化や度 と、会と、医科の内に依、文化や度 と、をしていて理解と深める がする。ととで、大きな、自然のものでは、自然のからないで、 を受いて薬をはけると変したの発生 と、受替に事業の目標や内容を支援する。 がす解しるようにならへ、可関性に「マーク」を付し、「治療」の例。「他の日に配置することで、 を受いる場合を対象がある。 がおり、基本的な知識、技能を は、選生、医神でもことができるよ。 がままるからに会をで、自然の 対象が、基本的な知識、技能を は、と、医科・アンドルである。 ・ 「深いデジ」のペーシで、関連例。基本的な知識、技能を は、技能を活用して原題を展 は、大きなとので、と、で、要を向いるまるが、またが、のの目の理能でします。 ・ 「深いデジ」のペーシで、関連例。基本的な知識、技能を は、大きなとので、と、と、要をので、またまり、上、体的に関係を ・ 「深いデジ」のペーシで、関連例と解決の連載とせることができるよう工夫されている。 ・ 「深いデジ」のペーシで、関連例と解決の連載となる。 ・ 「深いデジ」のペーシで、関連例と解決の連載となる。 ・ 「深いデジ」のペーシで、関連例と、 は、大きなとができるようエスで、またが、表で、例である。 ・ 「ないデジ」のペーシで、表がの、を取り参すを は、大きなとができるようエスで、と、数字のの音がとなと教学とのでは と、ないでは、と、数字のはある。 ・ 「深いデジ」のペーシで、表がのよりにないで、表がのいで、またまのにないが、またまのにないが、またまのにないが、またまのにないが、またまのにないが、またまのにないが、またまのにないが、またまのは、 ・ 「ないデジ」のペーシで、表がの、と、生のなの、要なの、数字のは多知によどができるようエスでは、またまのは と、ないの語がは、またまのは、またまのは、 ・ 「ないで、」 「深いデジ」のペーシで、表がのの意を またされている。 のない、またまのは、またまのは、またまのは、 ・ 「ないで、」 「深いデジ」の、一と、表ののまり、とのの意ととないを、またまとなができるような、またまとなでで、またまとなで、またまとなで、またまとなで、またまとなで、またまとなで、またまとなで、またまとなで、またまなななななななななななななななななななななななななななななななななな	観点	発行者	東書	大日本
数析の有限に同じ、 類別の 1 個別の 2 で	- 1	教育基本法の理念や長崎県教育で	5針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る.	
 (ようさどを始めた彼、火化で鑑) 学園に立かせる層材が扱われている。 (2) 学園に立かせる層材が扱われている。 (3) 学園に立かせる層材が扱われている。 (4) 学園に立かせる層材が扱われている。 (5) 学園に立かせる層材が扱われている。 (6) 学園に立かせる層材が扱われている。 (6) 学園に立かせる層材が扱われている。 (7) 会域の目標や内容等を踏まえて、様かな学力の育成を図る上での特殊と対しているから問題に「ママーフ」を付し、「活動」「例」を通切に配置することで、学力・大きれているか。 (6) 対策はこましては、透り上でいるがもの問題に「ママーフ」を付し、「活動」「例」を通切に配置することで、学力・大きれているか。 (7) 大きれているか。 (7) 大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大き、大	(1)	目的」及び「教育の目標」の達 成に資する内容、構成となって	紹介することで、知識や教養を身に付けるとともに、	どのように使われているかを紹介することで、幅広い 知識と教養を身に付けるとともに、勤労を重んずる態
接続の・基本的な知識・技能を の常園の理解を留実にして一から他の問題にいり、理 が表して学ぶできるとができるよう工夫 が表しておっているができるよう工夫 が表しておっているができるよう工夫 が表しておっているができるよう工夫 が表しているといて、基礎の・基本的な知識・技能を 対力を対するとかできるよう工夫 が表したができるよう工夫 が表したができるよう工夫 が表したができるよう工夫 ができるよう工夫されている か。	(2)	史、自然について理解を深める 学習に生かせる題材が扱われて	を使って薬を届ける実証実験に関する問題が掲載され、 I 年「空間図形」においては、「江迎千灯籠まつ	年「データの分析」の「都道府県別中学校数」において、長崎県のデータが掲載されている。
基礎的・基本的な知識・技能を	2	学習指導要領の目標や内容等を路	沓まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
※するために必要な思考力、判し、問題解除の進め方を意識しながら取り組ませることで、対定し、対策がもまま力手を育成することができるよう工夫されている。 生体的に学習に取り組む態度を 3 身に付けることができるよう工夫でれている。	(1)	確実に習得することができるよ	その問題の理解を確実にしてから他の問題に取り組む 構成とすることで、基礎的・基本的な知識・技能を習	「活動」「例」「例題」を適切に配置することで、学習を通して学ぶべきことを見いだし、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得することができるよう工夫されている。
主体的に学習に取り組む態度を 大きれているか。 本語	(2)	決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育成すること ができるよう工夫されている	し、問題解決の進め方を意識しながら取り組ませることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することができるよう工夫されている。	数学的な思考力、判断力、表現力等を育成することが
(4) 数学的活動の楽しさや数学のよう さき実感することで、数学の活動の楽しさや数学の よっと実感することができるよう エ夫されているか。	(3)	身に付けることができるよう工	しのつながりや、身の回りや社会と数学とのつながり を示すことで、数学の必要性を実感し、主体的に学習	巻頭の「数学の世界へようこそ」では、問題発見・解決の流れや働かせたい見方・考え方の例を示すことで、問題解決に対して主体的に取り組むことができるよう工夫されている。
おいて、つまずきの多い内容の確認ができるよう工夫 増やすことで、学習内容の定着を図るとともに、個に応じた自主的な取組ができるよう工夫されている。	(4)	さを実感することができるよう	を解決したり、数学の新しい性質を見いだしたりする 活動を取り扱うことで、数学的活動の楽しさや数学の よさを実感できるよう工夫されている。 数学を使って、学校生活や私生活で感じた疑問の解決 を図る場面を想定した「身のまわり」マークを適宜付 すことで、数学の有用性を実感することができるよう 工夫されている。	るよう工夫されている。 「課題学習」では、既習内容を使って考える課題を例 示し、身の回りや数学の学習で疑問に思ったことを課 題に選び、取り組めるようにすることで、数学のよさ を実感することができるよう工夫されている。
○ 各領域の内容を関連付けて見いたした課題を解決したり、解決 の過程を振り返って考えを深め ことができるよう工夫されている。 でき出しとして示すことで、考えを深めることができるよう工夫されている。 ですびにごうス」で、学習したことを基に別の考え方 たりする学習ができるよう工夫されている。 ですびにごうス」で、学習したことを基に別の考え方 方」「数学の目でふり返ろう」など、学習を振り返る 大きされているか。 ですびにごうス」で、学習したことを基に別の考え方 方」「数学の目でふり返ろう」など、学習を振り返る 大きなの見方をしたり、既習事項と結び付けて広げたり する課題を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 ですびにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 が逆の見方をしたり、既習事項と結び付けて広げたり する課題を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 ですびにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 が逆の見方をしたり、既習事項と結び付けて広げたり する課題を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 でするようエナされている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 が逆の見方をしたり、既習事項と結び付けて広げたり する課題を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 が逆の見方をしたり、既習事項と結び付けて広げたり する課題を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 が逆の見方をしたり、既習事項と結び付けて広げたり する課題を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 が逆の見方をしたり、表しまれている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 が逆の見方をしたり、表しまでで、表しまで表現したの見ができるよう正されている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方が、学習したことを基に別の考え方が、学習の見方をしたり、表しまでで、表しまでで、表しまでで、読みやすくなるよう配慮されている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方はの見ができるよう工夫されている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方ができるよう工夫されている。 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方ができるよう工夫されている。 「学びにからよう工夫されている。」 「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方が、学の見が表しまするよう工夫されている。 「学びにからますなどで、考えを深めることができるよう工夫がような。」 「学びにプラス」で、学びにプラス」で、学びにプラス」で、学びにでラス」では、またができるように関するといて、表しまでで、学習を表しまれている。 「単行のようなどでできまないでできるようなどで、考えを深めることでで、考えを深めることでできまないでできまないでできまないでできまないでできまないでできまないでできまないでできまないでできまないでできまないできまない	(5)	きるようにするなど、学び直し の機会が適切に設定されている	おいて、つまずきの多い内容の確認ができるよう工夫されている。 巻末に、当該学年の学習の土台となる内容を振り返ったり、問題形式で確認したりする「学びのベース」を 設けることで、学習内容の定着を図ることができるよ	増やすことで、学習内容の定着を図るとともに、個に 応じた自主的な取組ができるよう工夫されている。 章末の学習全体の問題や巻末の前学年の振り返りな ど、多くの問題に取り組む機会を設けることで、学習
3 学習効果や使いやすさ、見やすさ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や体裁の特長 文章は、分かりやすく、質・量 ともに適切な記述となっているか。 本書の「章とびら」では、写真や挿絵を用いたストー語となるよう配慮されている。 写真、挿絵、図表などは、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。 レイアウトや色彩、文字の大きさ、挿絵の活用、紙質、製本等については、適切に配慮されている。 (3) には、男のないでは、第四のは、一般ないでは、実際を表現した。 というには、明確ないでは、現解しやすい表には、明確ないでは、現解した。 ことなるよう配慮されている。 本書のは、写真や図表、イラストなどを用いて、活動や課題のイメージを捉えやすくすることで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 を章の関連や学習効果に十分配慮されている。 学習課題をページ上部に配置し枠囲みで強調することで、第一次を表現したり、例や例題にタイトルをつけて内容を示したりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。 なるよう配慮されている。	,	だした課題を解決したり、解決 の過程を振り返って考えを深め たりする学習ができるよう工夫 されているか。	「大切にしたい数学の学び方」で、「見通しを立てる」「深める」といった視点を、学びを深めるための吹き出しとして示すことで、考えを深めることができるよう工夫されている。 「学びをふり返ろう」や「大切にしたい見方・考え方」「数学の目でふり返ろう」など、学習を振り返る機会を随所に設けることで、考えを深めることができるよう工夫されている。	「学びにプラス」で、学習したことを基に別の考え方 や逆の見方をしたり、既習事項と結び付けて広げたり する課題を設定することで、考えを深めることができ るよう工夫されている。
(1) 文章は、分かりやすく、質・量にはふりがなを付けたりすることで、理解しやすい表にもに適切な記述となっている。 にはふりがなを付けたりすることで、理解しやすい表にもに適切な記述となっている。 にはふりがなを付けたりすることで、理解しやすい表にもに適切な記述となっている。 にはふりがなを付けたりすることで、 は読みやすくなるよう配慮されている。 こことで、学習意欲を高めるとともに、学習内容との関連や学習効果に十分配慮されているか。 こことで、学習意欲を高めるとともに、学習効果に十分配慮されているか。 は、単元全体で問題を解決できるよう配慮されている。 こことで、学習意欲を高めることができるよう配慮されている。 こことで、対象で高めることができるよう配慮されている。 で、目的意識をもって学習に取り組むことができるようにしまりまることで、 はみやすくなるよう配慮されている。 で、目の意識をもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。 こことで、 は、適切に配慮されている。 こことで、 は、適切に配慮されている。 こことで、 は、必ゃすくなるよう配慮されている。 こことで、 は、必ゃすくなるよう配慮されている。 こことで、 は、必ゃすくなるよう配慮されている。 こことで、 は、必ゃすくなるよう配慮されている。 こことで、 ここ	3	学習効果や使いやすさ、見やする		
「写真、挿絵、図表などは、字習	1	ともに適切な記述となっている	にはふりがなを付けたりすることで、理解しやすい表	
レイアウトや色彩、又字の大きで、目的意識をもって学習に取り組むことができるより、 さ、挿絵の活用、紙質、製本等では、 については、適切に配慮されている。 トルをつけて内容を示したりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。	(2)	意欲を高めるとともに、学習内 容との関連や学習効果に十分配	リー性のある題材構成とすることで、学習意欲を高め、単元全体で問題を解決できるよう配慮されてい	各章の冒頭では、写真や図表、イラストなどを用いて 活動や課題のイメージを捉えやすくすることで、学習 意欲を高めることができるよう配慮されている。
	(3)	さ、挿絵の活用、紙質、製本等 については、適切に配慮されて	で、目的意識をもって学習に取り組むことができるよ	重要事項を赤枠で囲んで強調したり、例や例題にタイトルをつけて内容を示したりすることで、読みやすくなるよう配慮されている。

Ш	具体項目		数学
観点	発行者	学 図	教出
-1	教育基本法の理念や長崎県教育で	5針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る	上での特長
(1)	教科の特質に応じて、「教育の 目的」及び「教育の目標」の達 成に資する内容、構成となって いるか。	気温と海面水位の上昇などSDGs に関連した題材を用いることで、自然を大切にし、郷土を愛する態度を養うことができるよう配慮されている。	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴 史、自然について理解を深める 学習に生かせる題材が扱われて いるか。	年「データの活用」において、全国の都道府県の人口と自分たちの住む県の人口を比較する活動が取り入れられている。	3年「三平方の定理」において、身の回りにある山の 頂上から見渡すことができる距離を、三平方の定理を 用いて求める活動が取り入れられている。
2	学習指導要領の目標や内容等を足	沓まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を 確実に習得することができるよ う工夫されているか。	「計算力を高めよう」「確かめよう」を設けるとともに、本文中の「例」について、ノート形式で模範的な解答の書き方を示すことで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。	章の冒頭には「学習する前に」、章末には「学習のまとめ」を設けるとともに、「例」と「問」の間に「たしかめ」を配置することで、基礎的・基本的な知識・技能を習得することができるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解 決するために必要な思考力、判 断力、表現力等を育成すること ができるよう工夫されている か。	身の回りの事象の中から問題を発見し、考察したり、 性質を見いだしたりする「数学的活動のページ」を設 けることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育 成することができるよう工夫されている。	「学びのプロセス」を設け、問題発見・解決の過程を 意識して取り組めるようにすることで、数学的な思考 カ、判断力、表現力等を育成することができるようエ 夫されている。
(3)	主体的に学習に取り組む態度を 身に付けることができるようエ 夫されているか。	「Q」では、解決に向けた見通しを立てる場面で「目標」を設定し、学習を進める中で発見した新たな疑問を次の学習につなげる構成とすることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	章の導入「Let's Try」や導入課題「Q」では、作業や調査などの活動に取り組んだり、新しい方法や性質を見いだしたりする問題場面を設定することで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
(4)	数学的活動の楽しさや数学のよ さを実感することができるよう 工夫されているか。	「数学へのいざない」「章のまとめの問題」「深めよう」などで、身の回りで数学が役立っている場面を取り上げることで、数学の有用性を実感することができるよう工夫されている。 節の導入で、具体物を操作する活動と、数学的に考えたり説明したりする活動を結び付ける場面を設定することができるよう工夫されている。	数学を学ぶことの必要性を実感することができるよう工夫されている。 「数学しごと人」では、社会で活躍している方へのインタビュー内容を掲載することで、実社会で数学が役立っていることや数学を学ぶ意義が実感できるよう工夫されている。
(5)	一度学習した内容を再度学習で きるようにするなど、学び直し の機会が適切に設定されている か。	領域ごとの「ふりかえり」のページや側注の「ふりかえり」を設けることで、前学年までの学習内容とのつながりを意識したり、既習内容を確認したりすることができるよう工夫されている。 「計算力を高めよう」や「確かめよう」で、どのページで学んだ内容であるかを確認しながら繰り返し練習する機会を設けることで、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。	巻末に、本文の「たしかめ」や「問」の類題に取り組む「補充問題」を設けることで、繰り返し練習し、学習内容の理解を深めることができるよう工夫されている。 章の学習の側注などに、既習内容や振り返りのよりどころとなるページへ戻るための「もどって確認」「学びのマップ」を設けることで、学習内容の定着を図ることができるよう工夫されている。
	各領域の内容を関連付けて見い だした課題を解決したり、解決 の過程を振り返って考えを深め たりする学習ができるよう工夫 されているか。		ことで、見方・考え方を働かせながら、考えを深める ことができるよう工夫されている。
3	学習効果や使いやすさ、見やする	さ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や	
(1)	文章は、分かりやすく、質・量 ともに適切な記述となっている か。		
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習 意欲を高めるとともに、学習内 容との関連や学習効果に十分配 慮されているか。	単元前の「ふりかえり」や巻末の「さらなる数学へ」 では、図や挿絵を多く用いて内容を分かりやすくする ことで、学習意欲を高めることができるよう配慮され ている。	
(3)	レイアウトや色彩、文字の大き さ、挿絵の活用、紙質、製本等 については、適切に配慮されて いるか。	作図や書き込みに用いる図を、ページの外側に配置することで、教科書上での作業がしやすいよう配慮されている。	小見出しの前後や指導の流れの区切りでは、適宜行間 を空けることで、内容が読み取りやすくなるよう配慮 されている。

Ш	具体項目		数学
観点	発行者	啓林館	数一研
- 1	教育基本法の理念や長崎県教育の	5針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る	上での特長
(1)	教科の特質に応じて、「教育の 目的」及び「教育の目標」の達 成に資する内容、構成となって いるか。	「数学ライブラリー」や「学びをいかそう」などでは、日本の伝統模様や数学者の功績などの題材を取り上げることで、我が国の伝統文化や他国を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。	内容と関連付けた題材を掲載することで、幅広い知識
(2)	ふるさと長崎の伝統・文化や歴 史、自然について理解を深める 学習に生かせる題材が扱われて いるか。	2年「図形の調べ方」の証明において、「長崎ハタ揚げ大会」のハタの図形が活用され、3年「標本調査とデータの活用」においては、長崎県の平均睡眠時間のデータが掲載されている。	1年「正の数、負の数」において、長崎県の最高気温が掲載され、3年「平方根」の「学んだことを活用しよう」においては、地震に関して長崎県の震度とマグニチュードが掲載されている。
2	学習指導要領の目標や内容等を路	沓まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
(1)	基礎的・基本的な知識・技能を 確実に習得することができるよ う工夫されているか。	「例」や「例題」を数多く掲載し、その「例」「例 題」にならって解くことができる「問」も十分に配置 することで、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習 得することができるよう工夫されている。	新たな学びがスムーズに進むよう、章はじめに「ふりかえり」のページを設けるとともに、「例」や「問」を細かく配置することで、基礎的・基本的な知識・技能が無理なく習得できるよう工夫されている。
(2)	知識・技能を活用して課題を解 決するために必要な思考力、判 断力、表現力等を育成すること ができるよう工夫されている か。	自分の考えを整理し、説明したり、記述したりする 「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」を設け ることで、数学的な思考力、判断力、表現力等を育成 することができるよう工夫されている。	の問題の解決に取り組んだりする場面を設定すること
(3)	主体的に学習に取り組む態度を 身に付けることができるようエ 夫されているか。	節ごとの「学習のとびら」では、その節の学習内容を 習得すれば解決できる身の回りの問題などを取り上げ ることで、主体的に学習に取り組むことができるよう 工夫されている。	新しい章に入る際には、自ら問いをもち、新しい内容 の必要性を感じるよう活動を展開することで、主体的 に学習に取り組むことができるよう工夫されている。
(4)	数学的活動の楽しさや数学のよ さを実感することができるよう 工夫されているか。	「学習のとびら」や「数学ライブラリー」で、数学が 関係している身の回りの題材を取り上げることで、楽 しく取り組みながら、数学を学ぶ意義や有用性を実感 することができるよう工夫されている。 「学びを生かそう」で、興味・関心がわく題材を豊富 に用意することで、数学を学ぶ意義や有用性を実感す ることができるよう工夫されている。	ている人へのインタビュー記事を掲載することで、数
(5)	一度学習した内容を再度学習で きるようにするなど、学び直し の機会が適切に設定されている か。	巻末「数学広場」の「学びをふりかえろう」「力をつけよう」では、特に基本的な問題にマークをつけ、他の問題と区別して取り組みやすくすることで、定着を図ることができるよう工夫されている。 基礎・基本の問題を細かく示した「学びをたしかめよう」を設けることで、学習内容の確実な定着を図ることができるよう工夫されている。	繰り返し練習するための「練習問題」や基礎の定着を目的とした「確認問題」を節ごとに設けることで、既習事項を繰り返し学習し、理解を深めることができるよう工夫されている。 各単元の前に「ふりかえり」を設けることで、その章の学びに関連する既習事項を確認しながら学ぶことができるよう工夫されている。
	各領域の内容を関連付けて見い だした課題を解決したり、解決 の過程を振り返って考えを深め たりする学習ができるよう工夫 されているか。	「○○の利用」の節の「ステップ」の課題では、問題解決をした後に、その結果を振り返って考えたり、発展的に考えたりする場面を設定することで、考えを深めることができるよう工夫されている。新しい問題を見いだして学びを広げる場面や、問題を解決する場面において働かせる数学的な見方・考え方を本文中に下線を付して示すことで、考えを深めることができるよう工夫されている。	課題や既習の方法では解決できない課題を織り交ぜることで、解決過程を振り返って、考えを深めることができるよう工夫されている。 生徒キャラクターが課題に対して試行錯誤する中で、ときには誤った考えを述べることで、解決の過程を批
3	学習効果や使いやすさ、見やする	さ(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や	体裁の特長
(1)	文章は、分かりやすく、質・量 ともに適切な記述となっている か。	文章を文節で改行したり、漢字には、学習段階も考慮 して、適切にふりがなを付けたりすることで、読み取 りやすくなるよう配慮されている。	
(2)	写真、挿絵、図表などは、学習 意欲を高めるとともに、学習内 容との関連や学習効果に十分配 慮されているか。	巻頭で、挿絵を用いてノートのとり方を解説したり、「数学ライブラリー」で、数学の歴史や数学を生かす 生活場面を提示したりすることで、学習意欲を高める ことができるよう配慮されている。	
(3)	レイアウトや色彩、文字の大き さ、挿絵の活用、紙質、製本等 については、適切に配慮されて いるか。	本文と「例」、「例」と「問」などの間はスペースを 空け、区切りごとにまとまりをもたせることで、読み やすくなるよう配慮されている。	グラフや図をかく問題、長さや角度を測る問題については、紙面の外側に図を配置することで、書き込んだり測定したりしやすくなるよう配慮されている。

	具体項目		数学
観点	発行者	日 文	
	教育基本法の理念や長崎県教育力	5針の趣旨・内容を踏まえて、豊かな人間性の育成を図る。	上での特長
		我が国の伝統と文化に親しむ題材や国際社会との関わ	
1 1	教科の特質に応じて、「教育の	りに関心がもてる題材を取り上げることで、国を愛す	
	目的」及び「教育の目標」の達	る心や国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこ	
1	成に資する内容、構成となって	とができるよう配慮されている。	
	いるか。		
	>フレレドサールル しゅぃー	2年「データの比較」において、大阪の猛暑日に関す	
	ふるさと長崎の伝統・文化や歴	る過去60年分のデータが扱われており、本県と関連	
(2)	史、自然について理解を深める	付けて学ぶことができる。	
l ` ′	学習に生かせる題材が扱われて		
	いるか。		
2	学習指導要領の目標や内容等を路	沓まえて、確かな学力の育成を図る上での特長	
		章のはじめ「次の章を学ぶ前に」で既習事項を確認す	
	基礎的・基本的な知識・技能を	るとともに、本文中の「例」に見出しを付し学習内容	
(1)	確実に習得することができるよ	を理解しやすくすることで、基礎的・基本的な知識・	
	う工夫されているか。	技能を習得することができるよう工夫されている。	
L			
	知識・技能を活用して課題を解	「学び合おう」では、切り離して使える「対話シー	
	決するために必要な思考力、判		
` '	断力、表現力等を育成すること	な思考力、判断力、表現力等を育成することができる	
	ができるよう工夫されている	よう工夫されている。	
<u></u>	か。		
		「学び合おう」では、日常生活や社会の事象、数学の	
	主体的に学習に取り組む態度を	事象から問題を見いだし解決する過程を丁寧に示すこ	
	身に付けることができるよう工		
	夫されているか。	されている。	
		「身近なことがら」から数学の問題を見いだし、問題	
		を解決する機会を設定することで、数学のよさや有用	
	数学的活動の楽しさや数学のよ	性を実感することができるよう工夫されている。	
(4)	さを実感することができるよう	「粉畳のたくけく」ゆ「CDC-と料型」「料型としま	
	工夫されているか。	「数学のたんけん」や「SDGsと数学」、「数学を仕事に生かす」などで、様々な場面で数学が活用されてい	
		に生かり」など(、様々な場面(数字が活用されていることを知る機会を設定することで、数学の有用性を	
		っことを知る機気を設定することで、数子の有用性を 実感することができるよう工夫されている。	
\vdash		- 美窓することがくさるより工犬されている。 - 章のはじめに「次の章を学ぶ前に」を、各節に適宜	
		「Q・確かめよう」「確かめ」を設けることで、既習	
	一度学習した内容を再度学習で	事項を必要な場面で確かめながら学習を進めることが	
(E)	きるようにするなど、学び直し	できるよう工夫されている。	
(5)	の機会が適切に設定されている	「基本の問題」や「章の問題」で、その節や章で学ん	
}	か 。	だ基礎的・基本的な内容について、十分な量の問題に	
}		取り組む機会を設けることで、学習内容の定着を図る	
\square		ことができるよう工夫されている。	
}		学習場面における振り返りの観点を明示した「学び合	
	各領域の内容を関連付けて見い	おう」や「ふり返りシート」を設けることで、学びの	
	だした課題を解決したり、解決	過程や変容を捉えながら、考えを深めることができる	
` '	の過程を振り返って考えを深め	よう工夫されている。 各章の「学びに向かう力を育てよう」では、多様な考	
	たりする学習ができるよう工夫	る草の、子のに向かり力を育じより」では、夕秋なち え方を問う問題や条件を変えて考える問題を設定する	
	されているか。	ことで、学習内容を振り返りながら考えを深めること	
		ができるよう工夫されている。	
3	学習効果や使いやすさ、見やする	く(ユニバーサルデザイン)等の観点からの表記・表現や	体裁の特長
		文章を読みやすい位置で改行したり、図中の文字を大	
	文章は、分かりやすく、質・量		
	ともに適切な記述となっている	う配慮されている。	
` '	か。		
	· -		
		キャラクターを使って間違えやすい箇所について注意	
	写真、挿絵、図表などは、学習	喚起をしたり、生徒の吹き出しやノート風の枠を使っ	
(2)	意欲を高めるとともに、学習内	て数学的な表現例を示したりすることで、学習内容が	
(-)	容との関連や学習効果に十分配	理解しやすくなるよう配慮されている。	
	慮されているか。		
\vdash		重要語句を目立たせたり、図表では、線を太く数字を	
	レイアウトや色彩、文字の大き	大きく表示したりすることで、読み取りやすくなるよ	
(3)	さ、挿絵の活用、紙質、製本等	う配慮されている。	
` ′	については、適切に配慮されて		
}	いるか。		
 -			